



## 公益財団法人千里リサイクルプラザ令和5年度(2023年度)第1回理事会議事録

1. 開催日時 令和5年5月19日(金)午前11時00分から正午まで
2. 開催場所 吹田商工会議所会館 2階 第1会議室
3. 理事現在数 10名
4. 理事定足数 6名
5. 出席理事数 9名  
門脇 則子 平田美恵子 柚山 明彦 東 真吾  
黒田 勇 柴田 仁 道澤 宏行 毛利 裕明  
和田大志郎
6. 欠席理事 西川 俊孝
7. 出席監事 上田 康雄 原田 憲
7. 傍聴者 1名
8. 会議の目的事項  
決議事項 第1号議案 令和4年度(2022年度)公益財団法人千里リサイクルプラザ事業  
報告及び決算の件  
第2号議案 令和5年度(2023年度)定時評議員会招集の件
9. 会議の概要

### (1) 議長の確認

冒頭、事務局の司会は上川善一郎次長が務めるとともに本日の議長は定款第37条の規定により門脇則子理事長が務める旨を報告した。

### (2) 定足数の確認

議長は、議事に先立ち、日と同じくして開催した G7 広島サミットを例に引き、エネルギー供給問題に絡む気候変動問題が他の諸課題と同じく各国が取り組むべき重要課題に位置づけられていることを述べ、日本も持続的な経済成長と脱炭素の両立を目指すことが求められること、その中でプラザ各職員も将来世代に負の遺産を継承させることなく、さらには生存を危ぶませることのないよう自らに戒めて、日々の環境啓発業務に一層邁進すると語った。

その後、本日の出席理事数が9名で定足数を満たしており、本日の理事会が有効に成立していることを報告した。

### (3) 議案の審議状況及び議決結果

審議に先立ち、上川善一郎次長が本年4月1日付での事務局職員の異動を報告し、その後各議案の説明に続いた。

#### ① 第1号議案「令和4年度(2022年度)公益財団法人千里リサイクルプラザ事業報告及び決算の件」

議長は第1号議案を議題とし、事務局にその説明を求めたので、事業報告については玉江千佳子主査と大森亘主査が、計算書類については田崎貴子主査がそれぞれ議案書を基に順次説明した。

説明が終わり、議長が質問及び意見を求めたが特に質問及び意見は無かったので、採決を諮ったところ、満場一致をもって第1号議案は承認可決された。

②第2号議案「令和5年度(2023年度)公益財団法人千里リサイクルプラザ定時評議員会招集の件」

議長は第2号議案を議題とし、事務局にその説明を求めたので、上川善一郎次長が第2号議案は、定時評議員会を招集するため定款第18条第1項の規定により理事会の議決を求めるものであると述べ、詳細を次のとおり説明した。

開催日時：令和5年6月7日(水) 午前10時00分から

開催場所：吹田市資源リサイクルセンター A棟5階 講義室2

目的である事項：(1)令和4年度(2022年度)事業報告及び決算の件

(2)評議員1名選任の件

(3)理事8名選任の件

(4)公益財団法人千里リサイクルプラザ定款の一部改正の件

(5)報告事項

ア 令和4年度第1回理事会決議等について

イ 令和4年度第2回理事会決議等について

ウ 令和4年度第3回理事会決議等について

説明が終わり、議長が一同に採決を諮ったところ、満場一致をもって第2号議案は原案どおり承認可決された。

(4)報告事項

議長は令和4年度が初年度となった第2次中期計画の実施状況について事務局に説明を求め、天野美晴参事が配付資料を元に要点を絞り説明した。また令和4年度の施設ホームページについては資料配付の上、閲覧傾向に触れるに留め詳細報告は割愛した。

議長が報告事項及びその他全般について質問や意見を求めたところ、次のような意見があった。

(道澤理事)

第2次中期計画の施策実施状況報告について、初めて拝見するが、これは公表するのか。

(門脇議長)

第1次中期計画の時も形は違うが、決算時に理事会、また定時評議員会の場で実施状況を報告し、併せて財団ホームページ上で年度毎に公表している。

(道澤理事)

報告の中で、「C」の評価がちらほらとあるようだが、本年度は市の指定管理の2年目にあたり、第三者モニタリングが実施される。第三者が評価するにあたっては、この第2次中期計画の実施状況評価も参考にすると考えられるので、C 評価で実施が遅れていると判断されたものがあるのであれば、速やかに対応を図ってほしい。

(門脇議長)

中期計画ということで、5年間の期間の中でどこまで達成できたかというのが加味された報告資料となっており、C 評価が必ずしも実施の遅れを意味するものではない。一見では資料が分かりにくい点があるので、今後はより分かりやすい注釈を付す等の対応をする。

(道澤理事)

最終年度まで5年をかけて A 評価を目指すのか、単年度毎の評価で A 評価を目指すのか、資料の意味するところが読み取りにくい。

(門脇議長)

注釈が不十分な状態で資料が独り歩きし誤解されることのないように、注意して整備を図りたい。

質問及び意見は無く、以上をもって議案の審議等を終了したので、議長は役員各位に対し円滑な会議運営の協力を深謝し、正午に閉会を宣した。

この議事録が正確であることを証するため、定款第39条第2項の規定により、理事長及び監事は記名押印する。

令和5年5月19日

理事長 門脇 則子



監事 上田 康雄

監事 原田 憲

